

有限会社城東衛生

2020 年度 環境経営レポート

(対象期間 2019 年10月1日～2020 年9月30日)



有限会社城東衛生



認証番号 00040

作成日： 2021年1月12日

環境経営方針

<環境経営理念>

昨今、地球温暖化問題に代表される環境問題がクローズアップされており、国・企業・個人といった範疇を超えて、皆でその対策を真剣に考えなければならない時代となりました。

私達が関わる廃棄物業界においては、不法投棄、有害物質の発生、大気汚染、自然破壊といったネガティブなイメージが先行している一面が少なくないかも知れません。ある意味それは当業界の業務が環境に多大な影響を与えることを示しており、今後、我々は人・社会・自然など地球のすべての物と共生することを考えた上で環境保全活動に率先して取り組まなければならない責務を負っていると言えます。同時にその影響力をもって、我々の地道な業務の積み重ねにより世の中をいい方向に変えられるという気概を社員一人一人が持ち続けたいと考えます。

これまで私達が不自由なく享受してきた水・大地・空気といったかけがえのない地球の財産を次世代に美しい状態で引き渡すため、ひいては経済発展（エコノミー）と環境保全（エコロジー）が両立できる持続可能な社会を創り出すため、一般廃棄物の受け皿という公共性の高い事業活動を行っているという社会的責任を自覚し、社員一丸となり継続的な環境活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 私達は、大量消費社会から循環型社会への転換を図るべく以下の環境方針に沿って、環境保全活動に取り組めます。
環境関連法令と当社が承認した協定等を遵守し、産業廃棄物の適正処理を行います。
2. 省エネルギー、省資源、再資源化、グリーン購入に配慮した事業活動を展開します。
また、電気使用量、燃料消費量、ゴミの排出量等の数値を把握し削減目標及び再資源化（リサイクル率）向上を目指し、目標達成できるよう社内全体で努めます。
3. 社内での意識を高める為、社員への環境教育、啓蒙活動を行います。
4. 社外に対し、環境活動レポートを公表し、当社で行う環境保全活動を紹介し環境に関する情報を提供します。
5. 地域に根差した企業として住民の皆様の要望に耳を傾け、協力し環境コミュニケーションを大切にしていきます。



制定日：2008年10月1日

改定日：2021年1月12日

代表取締役社長 **樋下 茂**

□組織の概要

更新日：2021年1月12日

(1) 名称及び代表者名
有限会社城東衛生
代表取締役社長 樋下 茂

(2) 所在地
本 社 大阪府大阪市城東区今福南2丁目8番9号
営業事務所 大阪府大阪市鶴見区今津北3丁目3番13号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 取締役 樋下 香織 TEL：06-6969-5351
担当者 環境事務局 松本 輝希 フリーダイヤル：0120-889-530

(4) 事業内容
一般廃棄物収集運搬業・清掃業

(5) 事業の規模
法人設立 1954年4月1日
事業年度 8月～翌年度7月
資本金 300万円
売上高 13,658万円

	本社	営業事務所
従業員	0名	4名
延べ床面積	50 m ²	423.8 m ²

受託した一般廃棄物

収集運搬量	1,722 t
-------	---------

軽油車	台数	ガソリン車	台数	天然ガス車	台数
4t プレス車	1台	軽トラック	1台	2t プレス車	2台
4t ダンプ車	1台	営業車	5台		
2t プレス車	1台	フォークリフト	1台		
2t ダンプ車	1台				

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 有限会社城東衛生
対象事業所： 営業事務所

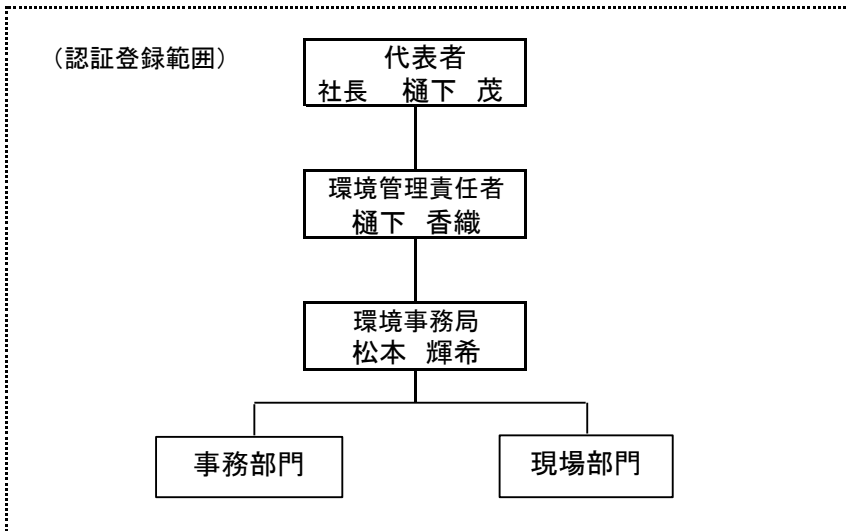
活動： 一般廃棄物収集運搬業・清掃業

□事業の紹介

清掃法が成立した昭和29年、大阪市より一般廃棄物収集運搬業の許可を頂いてから、66年にわたりきれいな街、大阪を維持するため、事業を務めてまいりました。
事務所や飲食店の定期収集と一般家庭から出る粗大ごみなどを収集する臨時収集も行っておりますが、お部屋の片づけや遺品整理のお手伝いする事業も好評をいただいております。

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2021年1月12日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、環境事務局の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□許可の内容

一般廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日
大阪市	0120000	令和2年4月1日	令和4年3月31日

□廃棄物処理フロー



処理料金
5000円/月～

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年	2019年	2020年
二酸化炭素総排出量 ※環境目標にない、天然ガスを含む	kg-CO ₂	72,683	71,624	59,425
受託収集運搬量	トン	1,596	1,624	1,722
廃棄物排出量	kg	170	163	160
一般廃棄物排出量	kg	170	163	160
産業廃棄物排出量	kg	0	0	0
水使用量	m ³	95	95	78

※電力の二酸化炭素排出係数 0.334kg-CO₂/kWh 関西電力、2019年度の調整後の排出係数

□環境経営目標及びその実績

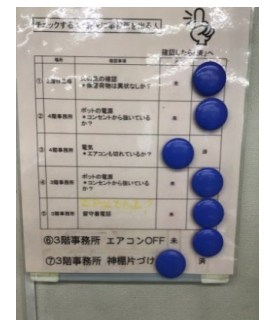
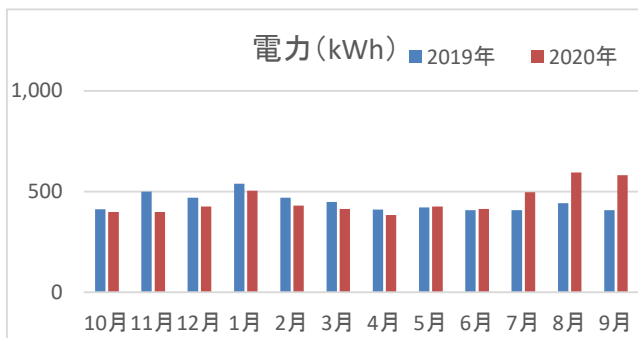
項目	年度	基準値 (基準年)	2020年		評価	2021年	2022年
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
			電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		1,775	1,739
	基準年度比	2019年	98%	103%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	69,850	68,453	57,599	○	67,754	67,056
	基準年度比	2019年	98%	82%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	71,624	70,192	59,425	○	69,458	68,742
一般廃棄物の削減	kg	163	155	160	×	152	147
	基準年度比	2019年	95%	98%		93%	90%
水道水の削減	m ³	95	90	78	○	87	86
	基準年度比	2019年	95%	82%		92%	90%
環境に配慮した収集運搬	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

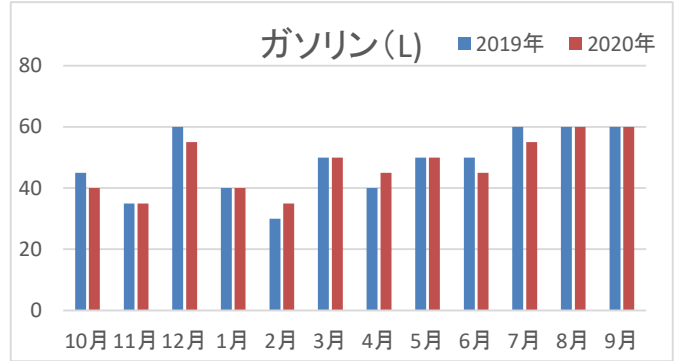
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	電力削減の表示物の作成や啓発を行ったことにより、継続して無駄な電力消費を抑えています。しかし結果として電気使用量は増加してまいりました。原因として、コロナ対策の為に部屋の使用数の増加等が考えられます。次年度より、増加した部屋・空調機を見直し、節電を行っていきます。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・電気ポット(保温)は日中のみ使用	○	

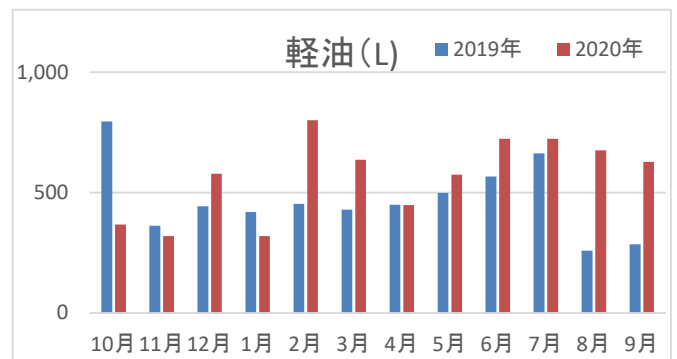


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2019年	412	499	470	539	469	449	411	421	408	408	443	408
2020年	399	399	425	504	431	413	384	425	413	497	595	582

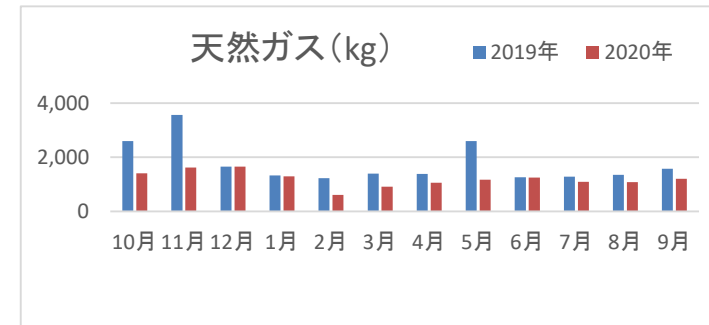
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	定期的に収集経路をチェックし、効率化を図ることで走行距離の削減しております。 また、IP無線を利用することで、収集ルートが見える化となっております。 しかし、天然ガス車両の燃費の悪化や搬出頻度の増加等、結果としてCO2排出量は増加しております。 業務チームで月に一度ミーティングルームを行っているため、効率的なルート作成及びエコドライブの周知を行ってまいります。 次年度も引き続き継続した活動を行ってまいります。
・エコドライブの徹底	○	
・合理的な収集経路	○	
・車両点検の徹底	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2019年	45	35	60	40	30	50	40	50	50	60	60	60
2020年	40	35	55	40	35	50	45	50	45	55	60	60

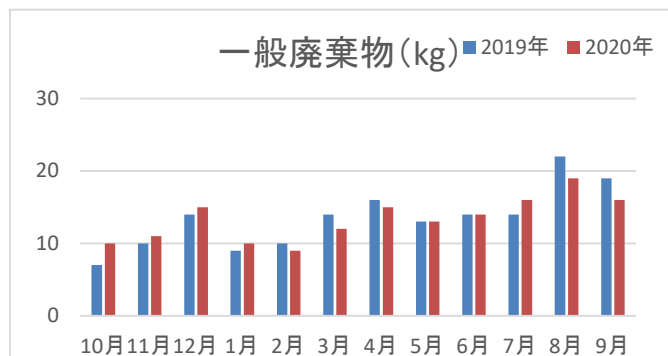


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2019年	796	362	443	419	454	430	449	499	567	663	259	286
2020年	367	320	578	319	801	636	448	574	723	723	676	628



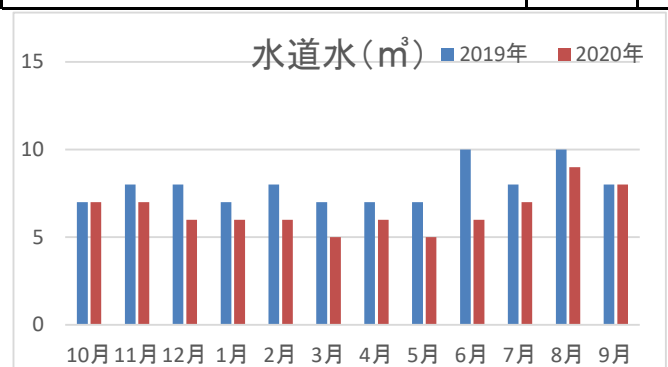
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2019年	2,603	3,568	1,655	1,332	1,230	1,392	1,387	2,603	1,263	1,284	1,356	1,571
2020年	1,407	1,623	1,650	1,296	614	908	1,057	1,169	1,248	1,097	1,077	1,206

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	分別の為、ゴミ箱を6種類設置しています。 お客様への説明の際にも必要なので、社員教育にも役立っています。 目標値を達成することができませんでしたが、ペーパーレス等更なる削減を目標に次年度も継続した分別を行っていきます。
・分別の徹底	○	



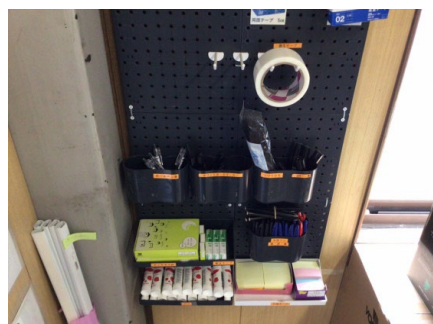
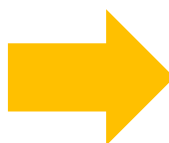
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2019年	7	10	14	9	10	14	16	13	14	14	22	19
2020年	10	11	15	10	9	12	15	13	14	16	19	16

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	各車両ごとに担当や清掃時間を設けることで、洗車の重複がなくなりました。また、極力手拭きで洗車を行っています。次年度も引き続き使用量の削減を目指します。
・トイレの二度流し禁止	○	
・洗車時の節水	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2019年	7	8	8	7	8	7	7	7	10	8	10	8
2020年	7	7	6	6	6	5	6	5	6	7	9	8

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・事務消耗品を選ぶ際には、グリーンマークを参考	○	定期購入する商品を見直し、環境に配慮した商品を購入しました。 また適正在庫を減らし、必要な数だけ購入しました。 次年度も継続して、商品のグリーンマークを参考にしていきます。



環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
・作業開始前の車両点検	○	毎朝担当車両を点検・清掃を行いました。また、積み残しはありませんでした。 次年度も引き続き行います。
・エコドライブの推進（燃料使用量は別項）	○	
・積み残しの削減	○	
・車両の清掃	○	

取組紹介欄



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業
大阪府条例（流入車規制）	収集運搬車
道路運送車両法	車両の大きさ・重量・乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量・通行規制
フロン排出抑制法	空調機の定期点検

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去4年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

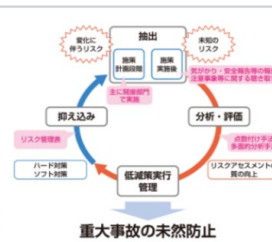
緊急事態の想定： 被災の予防	
■実施日： 2020年8月6日	■実施場所 営業事務所
■参加者： 安全衛生向上委員会	■実施内容 集計データの振り分け
■実施状況の様子	



リスクアセスメント

リスクアセスメントについては、リスクを見つけ、評価し、優先して対処すべきリスクに対して適切な対策を講じる一連の流れに沿って、現場機関、支社、本社が連携して取り組んでいます。

●リスクアセスメントの流れ
社員からの報告等を通じてリスクを抽出・評価し、効果的な対策の実施と継続的なリスク管理により、リスクを抑え込む仕組みとしています。
これまで10年あまりの取り組みで多くのリスクを抽出しましたが、リスクの評価手法やより効果が期待できるリスク低減策の検討に課題があることから、仕組みの見直しについて、検討を進めています。



火災訓練を実施し、火災対応手順書の変更の必要ないことを確認

口代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2021年1月12日

【前回の指示への取組結果】

HPの更新。
エコアクションに関する掲示物の作成。

<情報>	<見直し・指示>
◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等) 環境問題の変化なし	◇環境方針 変更なし
◇環境経営目標・計画の達成状況	◇環境経営目標・環境経営計画 コロナ禍によるエネルギーの削減を提案。
◇その他 特になし	◇実施体制他 特になし

本年度は環境活動を活発的に実施することができたものの、コロナ禍による部屋の使用数の増加により使用電力量が増加してしまいました

しかし、車両・収集ルートの変更により、自動車燃料による二酸化炭素排出は大幅に削減することができました
コロナの影響により、直接社内で話し合う機会が減ってしまいましたが、ウェブ会議やクラウドスの利用等のIT化を進めたことで、社員一人一人の持つ情報が見える化し、お客様の情報、廃棄物の情報なども共有がしやすくなりました
今後も継続的に燃料の使用量を削減を目指し、収集ルートの効率化や環境活動を行っていきます
今後も定期的にする必要があることも社員達も実感しているので環境に携わる企業として、また、エコアクション21の認定を受けている企業として社内一丸となり、継続的な環境活動・改善を行っていく所存でございます



有限会社城東衛生 代表取締役 樋下 茂

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直す
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

口これまでの環境活動の紹介

2020年は、エコアクション21認証・登録を始めて11年目の年となりました。
これは全てこれまで歴代にお世話になった審査人の方々のおかげだと感謝しております。エコアクション取得開始の際には何もわからずひたすら審査人の方にご指導いただきデータ集めから始め、認証・登録までたどり着きました。
10年以上経過した今でも、毎年審査人の方に色々な事を教えていただき、継続していることは変わりありません。
開始当初からデータを集めて精査するというだけでなく
地域貢献と考え始めたゴミ拾いは、今もずっと継続しております。
データだけでなく、こういった活動も始める事が出来た
良いきっかけになりました。
今後も引き続きご指導ご鞭撻いただきながら、この環境マネジメントを続けて
いきたいと思っております。